

すてきがあふれ、交流の風が吹くまち  
ふるさと都市・東灘

東灘区計画

編集・発行

東灘区役所 まちづくり課

〒658-8570 神戸市東灘区住吉東町5丁目2番1号  
TEL 078(841)4131 FAX 078(811)4901

神戸市企画調整局 総合計画課

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号  
TEL 078(322)5029・30 FAX 078(322)6009

リサイクル適性(A)

この印刷物は印刷用の紙へリサイクルできません。

平成23年3月発行

神戸市広報印刷物登録 平成22年度第236号 (広報印刷物規格A-1類)



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization

City of Design  
KOBETW

Member of the UNESCO  
Creative Cities Network  
since 2008

平成23年2月  
神戸市東灘区

## はじめに

東灘区では、震災後の社会経済情勢が目まぐるしく変化するなかで複雑多様化する市民ニーズや新たな地域課題に対応していくため、2005年に「区中期計画」を策定し、区民の皆様と協働して、区の個性を活かしたまちづくりを進めてまいりました。この区中期計画は2010年で期限を迎えましたが、少子・超高齢化の進展など全市的な課題に加えて、地域を取り巻く課題も大きく変化しています。これらを解決し、さらに魅力あるまちづくりを進めていくため、2025年に向けた区の将来の姿を描くとともに、2015年度までの区の実施計画として、「東灘区計画」を策定しました。

策定にあたりましては、広報紙やホームページで策定状況をお知らせするとともに、区民アンケートやシンポジウム、パブリックコメント(市民意見の募集)などにより、多くの区民の皆様のご意見を聞きながら、区民まちづくり会議を中心に熱心に検討いただきました。区の個性や独自性あふれる計画の策定にご尽力いただいた区民まちづくり会議の皆様をはじめ、ご意見をお寄せいただいたすべての皆様に心から感謝を申し上げます。

今後、計画の実行におきましても、区民の皆様とのさらなる協働の取り組みが不可欠であり、「区中期計画」に引き続き、「区民ができること」「区役所・市役所と区民がいっしょになって進めていくこと」「区役所・市役所が行うこと」という主体ごとの役割が「東灘区計画」に位置づけられています。

これは、長期的な神戸づくりの方向性を示す「神戸づくりの指針」に掲げた「協創<sup>きょうそう</sup>」を具体化したものであると考えています。「協創」は、「ひと(人)」を「たから(財)」と捉え、多様な「人財」がきずなを深めながら、みんなの力で豊かなまちにしていこうとするもので、協働と参画をさらに進めた姿です。

この「協創」によるまちづくりを進め、「東灘区計画」の将来像である「すてきがあふれ、交流の風が吹くまち『ふるさと都市・東灘』」の実現のため、ともに力を合わせて計画の実践に取り組んでいただきますよう区民の皆様をお願い申し上げます。

平成23年2月



神戸市長 矢田 立郎

## もくじ

I	5か年(2011年度～2015年度)の取り組み目標・内容	4
	東灘区計画の策定にあたって	4
	1 未来の大人をまちが育てる	6
	2 まちが見守り支えあう	10
	3 まちの魅力をみがき、活力を与える	14
	4 身近な自然を守り、親しむ	18
	5 みんなが主体となって、互いに育ちあいながらまちをつくる	22
II	実現に向けて	26
III	参考	28
	東灘区計画の検討経緯	28
	知っておきたい東灘	30



## 東灘区計画の策定にあたって

I 5か年(2011年度～2015年度)の取り組み目標・内容

### 1. 区民まちづくり会議を中心に検討しました

「東灘区計画」は、「東灘区中期計画(2005年6月～2011年3月)」での検証や評価を踏まえつつ、区民アンケートやワークショップ・シンポジウムなどを通して、様々な世代の皆様からご意見をいただきながら、区民まちづくり会議を中心に検討しました。

この「東灘区計画」は、区民と目標を共有し協働で取り組むためのもので、2025年に向けた区の将来像と区民の生活に密着した分野を中心とした5年間(2011年度～2015年度)の計画から構成された区の将来像の実施計画です。

### 2. 東灘区の魅力や特色を活かしたまちづくりの内容としています

東灘区には、六甲山や住吉川などの豊かな自然環境、だんじりなどの郷土文化、酒文化の他、大学や美術館、鉄道・道路などの整備された交通網、ホテルの立地、食品産業の集積などの多様な都市機能といった魅力があり、古くから良好な住宅地として発展してきました。

東灘区計画では、これらの魅力を活かし、未来につないでいく取り組みを定め、「すてきがあふれ、交流の風が吹くまち『ふるさと都市・東灘』」を、2025年を目標年次

とした東灘区のまちの将来像として掲げています。

「すてきがあふれ」とは、東灘区にはたくさん魅力があり、すてきなまちであることを、「交流の風が吹くまち」は、六甲山と海の間

より吹く風・コミュニティ活動により吹く風、そういった風が吹きわたっているまちをイメージしています。「ふるさと都市」は、すてきな都市である東灘区がそこに暮らす人にとって住み続け、あるいはかつて暮らし転出していった人にとって再び戻りたくなるまちであることを意味しています。そして、多くの人がまちを愛し、手と手をつないでその輪を広げ、お互いに協力しあうことで、人とまちが育つという考え方である「であい・つなぎあい・育ちあい」を、「すてきがあふれ、交流の風が吹くまち『ふるさと都市・東灘』」を実現していくための基本指針としています。

次に、東灘区の魅力に加え、毎年転入者が多く子育て世代が多数生活しているといったまちの特色や、高齢化の進展・健康へ

の関心の高まり等の社会状況変化を踏まえ、区の将来像の実現に向けた15か年(2011年度～2025年度)のうちの最初の5か年(2011年度～2015年度)について次の5つの取り組みの目標(柱)を掲げ、取り組むこととしています。

- 「未来の大人をまちが育てる」として「子育て支援」、「子どもの育成」等
- 「まちが見守り支えあう」として「防災」、「防犯」、「高齢者や障がい者の見守り」等
- 「まちの魅力のみがき、活力を与える」として「歴史や伝統文化の魅力発信」、「まちの資源の活用」等
- 「身近な自然を守り、親しむ」として「自然とのふれあい」、「自然との共生」等
- 「みんなが主体となって、互いに育ちあいながらまちをつくる」として「地域活動や地域交流の促進」等の取り組みを進めていきます。

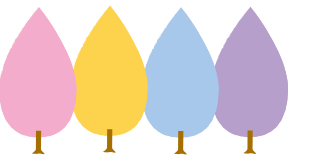
### 東灘区 の将来像及び基本指針

すてきがあふれ、交流の 風が吹くまち「ふるさと都市・東灘」





# 未来の大人をまちが育てる

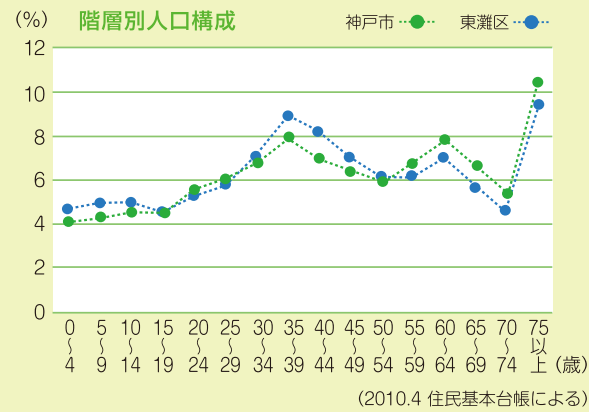


I 5か年(2011年度~2015年度)の取り組み目標内容

## 現状と課題

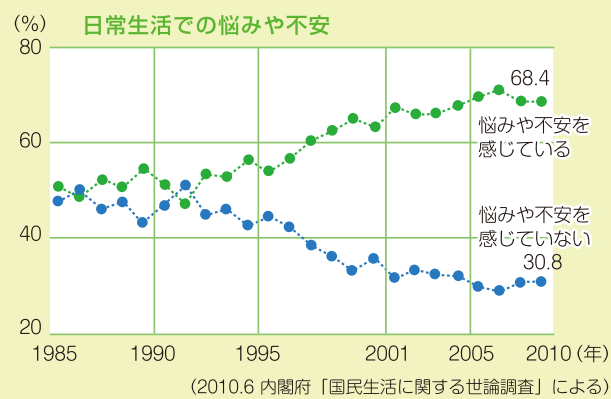
### 今後しばらく、子どもの数の多い状況が続きます

東灘区は転入者の割合が高く、30代、40代の子育て世代が多い状況です。過去5年の年間出生数も2,000人前後で推移しており、今後も全国的な高齢化の中、子どもの数が多いという、多子高齢化の状況が続くことが予想されます。待機児童の解消など、子どもを受け入れる体制づくりや、子どもの数を見据えた対策が必要となっています。



### 子どもの成長に不安や悩みを持つ保護者が増えています

子どもをめぐる犯罪の増加、食の安全や生活習慣の乱れ、発達障がいなど、子育てに関する不安をもつ親が増えています。また核家族化が進行する中で、子育てで孤立したり、身近に相談できる人が少ない状況も考えられます。子育ての段階に応じて関係者が連携したり、地域全体で支えあうための仕組みが必要となっています。また、男性・女性ともに働きながら子育てできる環境や、親育ちのための学習の場も必要です。発達障がい児の増加に対応した取り組みのほか、食への不安が高まるなか、食に対する安全と安心の提供



とともに、食品企業と協働した取り組みも求められています。

### 子どもたちには「居場所」が必要です

子どもたちは、異なる年齢や世代の人と接する機会が少なく、多様な体験をし、自分の将来を思い描くことが難しくなっています。安心して過ごせ、役割があって自分を受け入

れてくれる「居場所」をつくとともに、その受け入れ体制を整えていく必要があります。



## 目標と考え方

地域と協働して子どもの健康を守り、安心して産み育てられるよう子育てを応援する環境を整えます。また、子どもの自主性を重んじ、それを受け入れる「居場所」をつくり、育ちを促していきます。

### 子育てを応援する

子育てをする人のそれぞれの状況に応じて社会全体で子育てを応援し、子どもを安心して産み育てられる仕組みづくりに取り組みます。

待機児童の解消にむけた保育所の整備を進めるほか、「病児・病後児保育室」の設置など、保育サービスを充実します。

#### ①「子育て親育てまち育て」の取り組みを進める

子育て中の人一人が一人で悩みを抱え込まないよう、妊婦や子育て中の父親母親同士が交流する場をつくり、互いに支えあえる関係を育むとともに、障がいのある子どもたちへの支援を充実させます。

#### ③情報や知識を共有しあう

情報誌やホームページを活用し、さまざまな子育て情報をきめ細かく発信していく情報提供の仕組みづくりに取り組みます。

#### ④「食育・健康タウンひがしなだ」をめざす

食育に関する適切な情報を発信するとともに、事業者と地域との交流やさまざまな食育体験を通して、健康と食育への理解を深めます。

#### ②仕事と子育ての両立を応援する

働きながら子育てする人を支援するため、

### まちが子どもや青少年の育ちの場となる

子どもたちには、育ちの場となる「居場所」が必要です。子どもたちの「居場所」となる場をまちのなかに増やし、幅広い世代間交流をすすめます。

#### ②子どもたちや青少年が自主的に活動できる居場所をつくる

放課後に子どもたちが集い、学年を越えて遊び交流できる居場所をつくります。また、子どもたちがそれぞれの段階に応じて地域社会と連携し、自分で考え活動できる居場所づくりをすすめます。

#### ①子どもたちや青少年がまちで活躍する機会をつくる

幅広い世代との交流を深めることで、子どもたちにさまざまな知識や経験を伝え、まちの中で子どもたちが活躍できる場をつくります。

